

附属図書館の
elaboration

前川ゼミB班
権平・岡本・坂本・飯沢

目次

- [1] そもそも図書館って何？
- [2] 私達が目指す「長野大学附属図書館」
- [3] 附属図書館の現状
- [4] 課題
- [5] これからの方向性

そもそも図書館って何？

図書館とは…利用者の様々な活動を
手助けするためにある

公共図書館



地域の人
のために

附属図書館



大学生
のために

私達が目指す「長野大学附属図書館」

学生のニーズに応じたサービスの展開



本に触れること・読むことを目的とした利用

附属図書館の現状

学生のニーズに応じたサービスの展開

- ・ 国立国会図書館の観覧
- ・ 豊富な地域資料



➡ 限られたニーズにのみ対応

- ・ 会議室
- ・ シアター



➡ ニーズには対応

➡ しかし活用出来ていない

附属図書館の現状

本に触れること・読むことを目的とした利用

本読みた

本を全国から取り寄せることできる
学生が本のリクエストできる

利用者が知らないだけ

図書館に
読みたい本が
ないから



課題

学生のニーズをくみ取ることができていない
くみ取れていても有効活用出来ていない

そういうシステムがあるとみんな知っていたのか？

A. 知らない



広報が足りていない

これからの方向性

学生がもっと運営に関わる

ポスターや講座、イベント開催等より活動的に広報